学校番号	T0110

平成３１年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	世界の歴史　改訂版（８１山川世Ａ－３１６）						
副教材等	なし						

科目の目標	近現代史を中心とする世界の歴史を，我が国の歴史と関連付けながら理解し，人類の課題を多角的に考察することによって歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
担当者からのメッセージ	（1）授業では、教科書・ノートのすべてを使って、学習します。 （2）資料の読み取りや考察などを行なうことがあります。主体的に説明したり、論述したり、意見交換したりする姿勢が重要です。 （3）「私たちの時代と歴史」「近代の追究」「現代からの探究」の学習ではレポートの提出や発表を行う場合がありますので，自分の視点や考察した考えをまとめて表現できるよう念頭に置いて学習して下さい。			
評価の観点	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解
評価規準	世界各地の近代史に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる主権者として、歴史から学ぶ態度を身につけようとする。	世界各地の近代史的事象から課題を見いだし、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、過程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など近代史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界各地の歴史的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
成績評価方法	平常の授業に取り組む姿勢、定期考査や小テストの結果、課題などの提出物の状況を、a【関】関心・意欲・態度、b【思】思考・判断・表現、c【技】資料活用の技能、d【知】知識・理解の観点で総合的に判断し評価します。			

学期	単元・学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
前期	第１部　世界の一体化と日本 第1章　世界の諸文明 東アジア・南アジア・東南アジア・西アジア世界の形成、 古代地中海世界とヨーロッパ世界 の形成	○ ○	○	○ ○	○	a: ユーラシアを中心に形成された四つの地域世界それぞれの自然環境、生活、宗教などの特質に対する関心を高め、意欲的に追究している。 b: 世界それぞれの自然環境、生活、宗教などに特質を見いだし、今日の世界諸地域における社会・文化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 教科書の地図・写真・図版を用いて、古代文明のスケールの大きさを実感できる。 d: 自然環境、生活、宗教などの特質についての基本的な事柄を今日の世界諸地域における社会・文化と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 授業プリント レポート 論述 態度観察
	第２章　世界の一体化の始まり １．明・清代の東アジア、ムガル朝、オスマン帝国、大航海とアメリカ征服、 ２．ルネサンスと宗教改革、ス	○	○	○	○	a: 大航海時代のヨーロッパ人の海外進出と、アジアの諸帝国の政治と社会、ヨーロッパの主権国家体制の成立と大西洋貿易の動向などの特質に対する関心を高め、意欲的に追究している。 b:世界商業の進展と大西洋貿易の動向などと関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	定期考査 授業プリント レポート 論述 態度観察

	ペインからオランダへ、絶対王政と議会、大西洋経済					c: 教科書の地図・写真・図版を用いて、世界の一体化を実感できる。 d: ヨーロッパ人の海外進出と、アジアの諸帝国の政治と社会、ヨーロッパの主権国家体制の成立などについての基本的な事柄を、世界商業の進展と大西洋貿易の動向などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。	
	第3章　近代の世界 １．啓蒙とアメリカ独立、フランス革命、ナポレオン、産業革命、ウィーン体制 ２．１８４８年、クリミア戦争、イタリア・ドイツの統一	○	○	○	○	a: 西ヨーロッパとアメリカの変化と産業社会の成立、、ヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌の特質に対する関心を高め、意欲的に追究している。 b: 西ヨーロッパとアメリカの変化と産業社会の成立、、ヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に特質を見いだし、世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 教科書の地図・写真・図版を用いて、世界の変化を実感できる。 d: 西ヨーロッパとアメリカの諸革命と産業社会の成立、アジア諸国の内部で進行していた変化、ヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌などの特質についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 授業プリント レポート 論述 態度観察
後期	第４章　帝国主義時代　以降 １．世界資本主義、列強による植民地化と分割、社会主義、帝国主義、	○	○	○	○	a:19 世紀末から 20 世紀初頭に欧米諸国や日本などに見られた社会の急激な変化と 20 世紀という時代の特質などに対する関心を高め、意欲的に追究している。 b: 20 世紀にそれまでとは異なる人類史的特質を見いだし、社会の急激な変化の具体的な様相と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 教科書の地図・写真・図版を用いて、資本による世界の一体化を実感できる。 d:19 世紀末から 20 世紀初頭に欧米諸国や日本などに見られた社会の急激な変化の具体的な様相と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 授業プリント レポート 論述 態度観察
	２．第一次世界大戦・第二次世界大戦、冷戦から終結へ	○	○	○	○	a: 第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究している。 また戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立、核兵器問題などの特質に対する関心を高め、意欲的に追究している。 b: 二つの大戦が及ぼした影響と平和の意義などと関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 教科書の地図・写真・図版を用いて、世界の一体化を実感できる。 d:両大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、その影響と平和の意義などと関連付けて理解し、冷戦とその終結後の世界で起こった地域紛争の原因・背景、科学技術の人類への寄与と課題などについて、人類の生存と環境、世界の平和と安全の問題と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 授業プリント レポート 論述 態度観察